

首都圏

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS
新聞

全国農業

2025年(令和7年)

6月20日

金曜日
月4回金曜日発行

就農10年 経験還元へ研修生受け入れ

南アルプス市の粕谷さん夫妻

【山梨】南アルプス市でサクランボやモモなどを約250畝栽培する「農'S(のろず)」の粕谷一行さん(51)、ひろみさん(48)夫妻=写真=は、就農から10年を迎え、地域の担い手として活躍している。

東京に住んでいた粕谷さん夫妻は、数字に追われる生活より物を作る仕事がしたいと農家になることを決意。当初は野菜栽培の勉強をするつもりで山梨に移住した。しかし、一行さんの持病の腰痛などもあり、野菜作りを断念。その際に知り合いの農家からサクランボ栽培などを行う法人を紹介され、2年間研修を行うことになった。

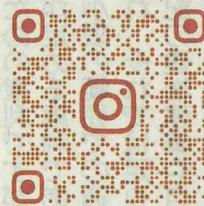
研修終了後は同市で就農。就農当初は農地の確保などで苦労したが、真剣に農業に向き合う姿が評価され、今では次世代の担い手として大きな期待を寄せられている。

昨年度からは若手農家に自分たちの経験を還元しようと研修生の受け入れも開始。一緒に作



業を行い、新規就農者の意見などにも耳を傾けることで自分たちの作業も見直せ、互いに成長できていると笑顔を見せる。

二人は声をそろえ「今後も常に挑戦し、変化に対応しながら農業を楽しみたい」と語る。



@NOUS2015CHERRY.PEACH

粕谷さん夫妻、
農'Sの
二次元コード